

市山市  
三篠丹波

# 「自主共済制度を保険業法の適用除外とすることを」を求める請願を3市議会に提出

改定保険業法によって06年4月から新規加入ができなくなっている協会の「休業保障制度」等の「自主共済制度」の経過措置期間が昨年3月に終了した。このため全国で制度の廃止や解散をする団体が続出して深刻な事態になってきていることから、協会では県下各自治体に対して「自主共済制度を新保険業法の対象外とすることを求める」意見書の採択を求めて請願を行っており、支部でも三田市、丹波市、篠山市に請願書を提出した。

総務常任委員会で審議、「自主共済とはどういうものか」、「給付内容がわかれば理解しやすい」、「税の対象になっていないので実態が明らかになっていない」、「賃金等で一度課税されているので(課税対象にすれば)二重になる」、「プールした掛金を運用して利益が出ているのではないか」、「もともとは米国の外圧が原因ではないか」等、1時間以上に亘って論議されたが、「結論を出すのは今一度検討して」との多数意見で継続審議となった。

福田俊明、紹介議員・城谷恵治(共産)  
【篠山市】 請願人・森下順彦、平野穰、増田耕一、紹介議員・前田えり子(共産)  
【丹波市】 請願人・森下順彦、高見啓二、宮崎直之、和久晋三、紹介議員・前川豊市(市政研究会)、西本嘉宏(共産)、足立一光(無所属)

## 北摂・丹波支部



# せったん

第120号 2009年3月5日  
発行 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部  
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31  
神戸フコク生命海岸通ビル5階  
TEL078-393-1801 (代) FAX 078-393-1802

## 会員懇談会

# 医療機関のトラブル対策 Part2

### 職員との関係大切に

支部では1月24日、三田市キッピーモールで会員懇談会「医療機関のトラブル対策パートII」を院内でのトラブルに対して」を開催、近隣支部からも含めて21人の医師・歯科医師が参加した。

尾内氏は、院内でのトラブル、中でも従業員とのトラブルが患者とのトラブル等と違う点は、その対応を主に院長が一人で行うことで、病気で廃業に追い込まれた事例もあり、従業員とのトラブルで最も多い



講師の尾内康彦氏

「解雇」についても「客観的に合理的な理由を欠き社会通念上相当であると認められない場合は：無効」としている労働基準法や就業規則の大切さを知ることが管理者と従業員との関係をよりよくする上で重要としてポイントを解説した。

また、「試用期間中のトラブル」や「患者からのクレームの多い看護師」、「急な退職の申し出」など最近寄せられた具体的な相談事例をもとに対応方法を説明するとともに、内部告発による個別指導や保健所の立入検査が増えていることにも注意が必要とした。

参加者からは「トラブルにならないように従業員とのコミュニケーションの大切さを再認識した」、「今回で2回目の出席だったが大変勉強になった」などの感想が寄せられた。

兵庫県保険医協会 北摂・丹波支部

「請求漏れ・請求間違い」はありませんか?

# 在宅医療点数研究会のご案内

～往診・訪問診療、在宅点滴注射、在宅療養指導管理など～

日時 **3月21日**(土) 午後2時～4時  
 会場 キッピーモール多目的ホール (JR三田駅前)  
 講師 三田市・木村クリニック 木村 忠史 先生  
 テキスト代 1冊 2,000円 (購入済等で不要の場合は無料)  
 定員 60人

高齢化や療養病床の廃止・削減等によって、在宅での医療・看護を必要とする患者が増えてい  
 ます。また最近、特別養護老人ホームや老人保健施設以外に、グループホームや有料老人ホームな  
 ど介護関連施設が多数増えており、2年前の診療報酬改定で設けられた「在宅療養支援診療所」に  
 加えて、今年の改定では新たに「居住系施設入居者」に対する訪問診療料や「特定施設入居時等  
 医学総合管理料」などが新設されるなど、在宅医療  
 点数がさらに複雑になっています。

これらの複雑な在宅医療点数を正しくレセプト請求することは難しく、請求漏れや請求間違い  
 が少なくありません。

そこで「在宅医療」に関わる保険請求の基本から、具体的な症例に基づいた保険請求の方法につ  
 いて解説致します。

先生はもちろん事務の方々もふるってご参加  
 ください。

※お問い合わせは、078-393-1801・3  
 平井・黒木まで



駐車券をお持ちください。  
 (3時間の無料駐車券発行)

Fax 078(393)1802

北摂・丹波支部 在宅医療点数研究会参加申込書

氏名	職種

※テキスト購入希望冊数 ( ) 冊 テキストのみの注文も承ります。

◇地区 (三田市・篠山市・丹波市) ◇医療機関名 ( )

## 「篠山市の医療をよくする会」

# 社会保障施策の充実を求めて 酒井市長と懇談



「篠山市の医療をよくする会」(北  
 摂・丹波支部加入)は、2月18日に  
 国保や後期高齢者医療など社会保障  
 に関わる問題で篠山市と懇談した。

懇談には、会から石田宇則代表ほ  
 か4人(協会事務局2人)が出席、  
 篠山市からは酒井俊明市長、前田公  
 幸保健福祉部長、倉剛史医療保険課  
 長が対応した。

酒井市長は「厳しい財政状況の中、  
 市民だけに負担を求めているのでは  
 なく給与もカットして職員全員で努  
 力している。診療所も廃止の方針を  
 撤回し存続することにした。開業医  
 の先生方にも地域医療への協力をお  
 願いしたい」とするなど市政への理  
 解を求めた。また、前田部長も「県  
 行革で福祉医療制度が見直されるが、  
 乳幼児医療費助成は市の上乗せを維  
 持して子育て支援には努力している」  
 などとした。

主な要望項目と回答は以下の通り。

○国保資格証明書を発行しないで下  
 さい。

「現在滞納は819世帯、うち資格証  
 明書の発行は37世帯で、その中に  
 小学生、中学生が一人ずついる。状  
 況把握のために訪問等努力している  
 が受け付けてもらえないことも多い。  
 市の実情に応じて対応したい」

○「払える国保税」に引き下げて下  
 さい。

「所得階層が低いため、他市と比べ  
 て医療費の割には一人当たりの保険  
 税は低くなっている。年々収納率が  
 低下しており、払わなくても良いと  
 して払わない人の対策が問題」

○後期高齢者医療制度の廃止を国に  
 要望して下さい。また資格証明書の  
 発行を行わないようにして下さい。

「制度全般に関する要望は市として  
 は出来る状況ではない。資格証明書  
 については、国保と同様に個別の状  
 況を踏まえて対応していきたい」



講師の福田俊明先生

臨時レクリエーション企画

## そば打ち体験パート2

4月26日(日) 午前10時～午後3時  
 ウッディータウン市民センター



近々、ご案内をお送りします!